

モニタリング調査結果

種名 : イチリンソウ

調査者 : NPO法人境川の斜面緑地を守る会

調査地 : 古淵

調査期間	気づいたこと
2018年4月 ~2018年5月	開花数は 斜面上部9個。 竹林上流側1個。 斜面下6個、合計16個の開花を確認した。昨年は合計34個の開花があり、今年はかなり減少である。特に斜面上部の生育地は過去に最大93個の開花を記録しており、近年の衰退傾向が気になる。
2019年4月 ~2019年5月	開花数は 斜面上部20個。 竹林上流側3個。 斜面下5個、合計28個の開花を確認した。過去のピーク時には及ばないが、昨年よりは開花数は僅かばかり回復している。
2020年4月 ~2020年5月	開花数は 斜面上部12個、 竹林上流側3個、 斜面下は3個、合計18個の開花を確認した。今年も減少傾向であり、3年前の激減の理由は不明のままである。
2021年4月 ~2021年5月	開花数は 斜面上部22個、 竹林上流側9個、 斜面下は3個、合計34個の開花を確認した。4年前の激減の理由は相変わらず不明のままである。(農薬説もあるが確証なし)
2022年4月 ~2022年5月	お墓横(D3)は花+蕾数7株(前年比-15)。A1(竹林)上流側は開花数9株(同±0)。斜面下(D1)は開花数1株(同-2)。 D3群落よりA1群落(タケ林横)の方がのびのびと育っている感じ。A1群落は人目に付きやすいので注意が必要か。
2023年4月 ~2023年5月	お墓横(D3)は花+蕾数0株(前年比-7)。A1(竹林)上流側は開花数7株(同-2)。斜面下(D1)は開花数0株(同-1)。D3はついに開花0となったため、被圧しているヤエムグラ、ドクダミを除去した。A1群落は例年並み。人目に付きやすいので注意が必要。